

人物の 生き方から 学ぶ



▲後藤新平



▲杉原千畝

多彩な人物教材

先人の生き方、考え方にふれることを通して、自己を見つめ、これらの生き方を考えていきます。歴史や文化、スポーツなど、さまざまな分野で活躍した人々を取り上げました。

▼竹下佳江



▲藤井聡太・加藤一二三

先人の 生き方から 学ぶ



▲桂米朝



▼マザー=テレサ

取り上げている主な人物

- 1年**
植松努 (6「どうせ無理」をなくしたい) イチロー (10 まだ進化できる)
萩野公介・瀬戸大也 (11 最強の敵 最大の友)
大日方邦子 (18 ショートパンツ初体験 in アメリカ)
緒方貞子 (22 歴史を変えた決断)
小田兼利 (26 全ての人に安心、安全な水を)
桂米朝 (29「庶民の笑い」を絶やさない)
松本紀生 (30 オーロラの向こうに)
瀬立モニカ (31 夢への挑戦「パラカヌー」)
- 2年**
竹下佳江 (5 短所を武器とせよ)
杉原千畝 (7 六千人の命のビザ)
貫戸朋子 (8 国境なき医師団・貫戸朋子)
新津春子 (11 清掃はやさしさ)
福本清三 (17 五万回斬られた男・福本清三)
野村萬斎 (21 狂言師・野村萬斎物語)
後藤新平 (24 復旧にとどまらず、復興を)
野口聡一 (30 ハッチを開けて、知らない世界へ)
長嶋茂雄 (31 へこたれない心)
肥沼信次 (35 ドイツ・グリーツェンに眠る日本人医師)
- 3年**
藤井輝明 (7 あなたは顔で差別をしますか)
四代目中村雀右衛門 (10 無限の道)
石井筆子 (11 鳩が飛び立つ日)
藤井聡太・加藤一二三 (13 日本の伝統文化 将棋)
マザー=テレサ (23 あふれる愛)
三澤拓 (24 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓)
星野道夫 (30 もう一つの時間)
五嶋みどり (32 音楽は対話の始まり)
北垣国道・田辺朗郎 (33 琵琶湖の水を京都に送る)
加藤三郎 (34 世界に誇る「BONSAI」)

同時代を 生きている 人々から学ぶ



▲新津春子



これからを 生きる 皆さんへ

著名なわたしの言葉や作品の中の一節から、生徒を励ますメッセージを入れています。

自分の生き方を考えていくヒントになります。

都道府県に ゆかりのある 人物と、その言葉

すべての都道府県から、さまざまな分野で活躍した人物の言葉を掲載しました。自己の生き方についての考えを広げ、くとも、我が国や郷土に対する理解を深めます。

興味をひかれた言葉を通して、その人物の生き方や考えから学びきっかけをつくります。調べ学習にも活用できます。国語や社会科、美術など、他の教科の学習と関連させることもできます。

これからを生きる皆さんへ

「年間通読を学んで、皆さんはどんなことを感じましたか。来年、そして将来、何に取り組み、どんなことを実現していきたいでしょうか。君たちはどう生きるか(吉野源三郎著)の中で、主人公である主人公の言葉が、君たちをどう導くか、君たちはどう生きるか、おもしろいです。君たちはどう生きるか(吉野源三郎著)の中で、主人公である主人公の言葉が、君たちをどう導くか、君たちはどう生きるか、おもしろいです。」



▲1年 p.208

「年間通読を学んで、皆さんはどんなことを感じましたか。来年、そして将来、何に取り組み、どんなことを実現していきたいでしょうか。君たちはどう生きるか(吉野源三郎著)の中で、主人公である主人公の言葉が、君たちをどう導くか、君たちはどう生きるか、おもしろいです。君たちはどう生きるか(吉野源三郎著)の中で、主人公である主人公の言葉が、君たちをどう導くか、君たちはどう生きるか、おもしろいです。」



▲2年 p.192

「年間通読を学んで、皆さんはどんなことを感じましたか。来年、そして将来、何に取り組み、どんなことを実現していきたいでしょうか。君たちはどう生きるか(吉野源三郎著)の中で、主人公である主人公の言葉が、君たちをどう導くか、君たちはどう生きるか、おもしろいです。君たちはどう生きるか(吉野源三郎著)の中で、主人公である主人公の言葉が、君たちをどう導くか、君たちはどう生きるか、おもしろいです。」



▲3年 p.192

【資料】都道府県にゆかりのある人物と、その言葉

それぞれの県をめぐり歩いてきた人々は、私たちがこれから生きていくうえで役立つ言葉を多く残しています。ここに、それぞれの県の人達から選り抜いた言葉や、大切に生きてきたと伝えられている言葉を掲載しました。皆さんの心に響く言葉が見つかりましたか。

1 北海道 松浦武四郎 (1828-1888) 「ここぞと、えんもあらずに人にして、この国民の、数ならぬは(心よく留めておきなさい、和んたれよ。アイヌも私らと同じ国民、どうして同じ国民の民として対等に接しなさいか)。」	2 青森県 高橋竹山 (1919-1998) 「それを断れば、津波の浪、やわやわである。そう、うさぎをだしたものだ。」	3 岩手県 深澤辰雄 (1905-1983) 「住民の生命を守るために私は命を賭けよう。」	4 宮城県 土井晩翠 (1877-1912) 「人生、理想、はたか度、詩人の夢よ、進いよと、われ笑ひも罷たげか。」	5 秋田県 石川理紀之助 (1845-1918) 「讀んで人を起す事なかれ。」
6 山形県 藤沢周平 (1927-1997) 「この世の中に、自分のような人間を繰り返している人かいるというところは、はらしないことではないだろうか。」	7 福島県 古岡裕而 (1891-1988) 「テーマや詩を讀んで、その情景を思い浮かべる。すると言葉がどどんと頭の中に湧いてくる。」	8 茨城県 長塚節 (1879-1913) 「夢は空からそうしてまから胸から動いてくる。」	9 群馬県 小栗忠順(上野介) (1827-1888) 「軍府の道中に降りかかるとも、日本は、是より其なる変化はない。」	10 栃木県 船村徹 (1912-2017) 「徹はあくまで、日本のすばらしい言葉を創り出す。」
11 埼玉県 萩野吟子 (1911-1993) 「人その友のために己の命を賭つるは、是より其なる変化はない。」	12 東京都 兼高かおる (1928-2019) 「これしかない、と夢をみる。(『アワロウサン』2015年4月2日号)」	13 千葉県 血協守之助 (1870-1947) 「世の事は自分自身で二分儀果と二分儀果までとせよ。(人生は、五分は真面目に取り組み、二分は勇気をもって、あと三分は勇気に通じなさい。)」	14 東京都 吉川英治 (1892-1962) 「朝の光は夜はない。」	15 東京都 御木本幸吉 (1918-1988) 「希望ある人間はどこか輝かしいものを持っている。」
16 東京都 平尾誠二 (1912-2018) 「時間ってあのー部分でなく、今の時間を大事にできない人は、未来の時間もきっと大事にはできない。」	17 東京都 小倉遊亀 (1916-2008) 「俺はなにひとつ見つけてない。一生懸命生きてる。私も見つけてはいけな。」	18 東京都 岡潔 (1901-1978) 「人として一番大切なことは、他人の情、とりわけ、その感じあひがわかることです。(『雑誌』日本人 2015年4月2日号)」	19 東京都 柳生宗矩 (1917-1986) 「我、人に勝つ道は知らず、我に勝つ道。」	20 東京都 萩野 昇 (1915-1992) 「痛い痛いと言ふうめ、家庭によって見捨てられて死んでいく、かわいそうな言葉をなんどもかかしてやりたい。これが私たちが第一の医師に課せられた宿命じゃないかというような気持ちで生きがいを感じたのでございませう。」
21 東京都 白川 静 (1919-2008) 「一歩ずつ進べば、山でも移せる。」	22 東京都 新田次郎 (1912-1988) 「冒険が年齢には関係はない。冒険がない人生は意味も価値もない。」	23 東京都 小林 一三 (1873-1942) 「成功の道は運を頼ることである。どんなに才能や手練があっても、平凡なことを忠実に実行できないような者は、将来の見込みはない。」	24 東京都 池井戸潤 (1963-) 「夢を見続けるのは、実は途方もなく難しいことなんだよ。その難しさを知っている者が、夢を見続けることができる。」	25 東京都 良寛 (1798-1861) 「言葉はまややすくして、行いはおろかななりやうすく。」
26 東京都 室生犀星 (1891-1962) 「人は決して幸せを避けて通る者ではない。花を見ないで道を通ることはできない。」	27 東京都 山崎 暎 (1912-1982) 「一歩ずつ進べば、山でも移せる。」	28 東京都 石川 龍 (1912-1982) 「成功の道は運を頼ることである。どんなに才能や手練があっても、平凡なことを忠実に実行できないような者は、将来の見込みはない。」	29 東京都 山崎 暎 (1912-1982) 「一歩ずつ進べば、山でも移せる。」	30 東京都 小林 一三 (1873-1942) 「成功の道は運を頼ることである。どんなに才能や手練があっても、平凡なことを忠実に実行できないような者は、将来の見込みはない。」
31 東京都 山崎 暎 (1912-1982) 「一歩ずつ進べば、山でも移せる。」	32 東京都 小林 一三 (1873-1942) 「成功の道は運を頼ることである。どんなに才能や手練があっても、平凡なことを忠実に実行できないような者は、将来の見込みはない。」	33 東京都 山崎 暎 (1912-1982) 「一歩ずつ進べば、山でも移せる。」	34 東京都 小林 一三 (1873-1942) 「成功の道は運を頼ることである。どんなに才能や手練があっても、平凡なことを忠実に実行できないような者は、将来の見込みはない。」	35 東京都 山崎 暎 (1912-1982) 「一歩ずつ進べば、山でも移せる。」

▲3年 都道府県にゆかりのある人物と、その言葉 (p.184~189)